

ふるさと歴史散歩

〔第104回〕 出張城跡(宮の町三丁目付近) その二

世の中は、群雄割拠・下剋上の時代である戦国時代となっていた。この時代を概観すると応仁の乱(1467)から豊臣秀吉が天下統一する

天正18年(1590)までの123年間をいい、戦乱に明け暮れた激動の時代であった。戦国時代半ばには、大内氏が勢力を伸ばし周防・長門・豊前・筑前の四ヶ国の守護を勤めるだけでなく、安芸国や石見国にも実質的な支配が及んでいた。一方、山陰の雄となった尼子氏が大内氏の勢力圏である安芸・石見・備後に進出しはじめた。大永三年(1523) 尼子経久率いる軍が西条にあった大内氏の築いた鏡山城を攻略し占領している。この時の合戦では、毛利元就が尼子軍の先鋒を勤めたが、2年後には尼子氏を離反して大内氏の傘下に入っている。一時期、安芸国は尼子氏に制圧されて国人領主の多くが尼子氏側に入ったことも

あった。天文9年(1540)には尼子詮久が安芸へ侵攻し吉田郡山城を攻めた。

天文10年(1541) 大内氏が武田氏の銀山城を攻め武田氏を滅ぼした際に、大内軍は武田方の府中出張城主白井備中守房胤を攻撃した。大内軍は矢賀・中山・尾長村の境界にある峠を越えてやってきたので大内越峠の名が今なお残っている。白井氏は道隆寺に本陣を構えたが大内軍の攻勢に勝てず、遂に本陣に火を放ち自刃した。

一方、白井越中守は、これより先の享祿2年(1528)には大内義隆から周防国楊井庄式拾石地ほかの知行を充行われた記録があり、この頃には武田氏から大内氏へ転じ、大内氏に忠勤を致し、銀山城合戦にも大内方として従軍している。そしてまた、天文11年(1542) 大内義隆自らが総大将、それに毛利元就ほか周防・石見の国人領

主を集めた総勢二万の軍勢で尼子晴久の居城、月山富田城攻めに従軍し、義隆の感状を受けている。天文20年(1551) 陶隆房(晴賢)は謀叛を起こし、主君の大内義隆を死に追いやり、権力と広大な領地を奪い取った。

多くの家臣団を擁し戦国大名に成長しつつあった毛利元就と陶晴賢との対決は避けられなかった。天文23年(1554) 陶氏と断交した毛利氏は広島湾頭に出兵し陶氏勢力を一掃して、この地を支配下に置いた。弘治元年(1555) 遂に、陶氏と毛利氏の決戦が厳島を舞台に行われ、村上水軍を味方につけた毛利氏が勝利し、戦国大名へと急成長した。

白井越中守一派は、仁保城を離れて大島に根拠を置き、最後まで陶氏方で戦ったが、その後、許されて小早川水軍に組み入れられ、隆景方の家臣として日向の鷹城で討死した。

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター(八幡四丁目1-1) ☎286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分までにごみステーションに出してください。

7/16
(月/祝)

普通ごみ (月・木曜日地区)

有価物 (月曜日収集地区)

※環境センターへの持ち込みは受け付けていません。

有価物の収集方法

品目別に順番(新聞・雑誌、ダンボール、衣類、ビン・缶・金属類の順)に収集します。後から出されたごみは収集されません。ごみは、品目別に離して置いてください。少しでも多くの有価物を再商品化、再資源化するために、ご協力をお願いします。

雨の日のごみの出し方

- ❖新聞・雑誌、ダンボールは、袋の中には入れずに、ひもで縛ってください。雨にぬれてもかまいません。
- ❖衣類は、雨にぬれるとカビが発生しやすくなり、再生利用できなくなりますので、袋の口をしっかり縛るか、天気の良い日に出してください。

ストックヤード建設工事期間中の

ごみの持ち込み

平成24年8月までストックヤード建設工事を行っていますが、環境センターへのごみの持ち込みは、通常通り受け付けています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。

ごみを出す時間に気をつけてください！
前日の夜や早朝に出すとカラスが見つけて荒らすことがあります。